

2018年度
ニッセイ財団
生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されております。

日本生命財団では、高齢者が主体となつて行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに2,158団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2018年度は、全国各地の222団体に1,110万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、2,158団体・10,790万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2018年度顕彰222団体の内訳>

- 「地域づくり活動」 88団体
(環境保護活動、健康増進活動等)
- 「高齢者支援活動」 75団体
(高齢者向けサロン、訪問ボランティア等)
- 「児童・少年の健全育成活動」 56団体
(登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等)
- 「障がい者支援活動」 3団体

以上